

食の多様化、グローバル化に向けて

おいしい食を  
すべての人に

食のバリアフリー化で  
より多くの人に安心して届ける



一般社団法人

日本フードバリアフリー協会

JAPAN FOOD BARRIER-FREE ASSOCIATION

## 協会の目的

いま、食の多様化やグローバル化が進んでいます。

インバウンドの増加に伴い、ベジタリアンやヴィーガン、ハラル、コーシャなどの食の規律に対応する必要性が増えています。また、食物アレルギーや生活習慣病など、健康上の理由から多様化する「食」への配慮なども求められています。

こうした食の多様化やグローバル化で最大の障壁となっているのは、食事に対する表記の不明瞭化であり、これが「食のバリア」となっているのです。

フードバリアフリーとは、食材や加工方法をわかりやすく表示することで、より多くの人に食事を安心して選び、楽しんでもらうという取り組みです。ただし、各店が独自に取り組んだのでは、表記は複雑になり、間違った表記によるトラブルの元になってしまいます。そこで、正しい食材の知識をもとに、共通の表記をしてもらうことが必要です。

当協会では、食の多様化やグローバル化に向けて、食のわかりやすい表記を普及させ、ひとりでも多くの人に美味しい食を安心して選び、食べてもらえるような取り組みを行っていきます。



## 主な食のバリアやスタイル

### ベジタリアン、ヴィーガン

倫理面、健康面、宗教面などから取り組む人が多い。国際的な取り組みは英国発祥で、欧米、アジア、台湾などに多い。卵、牛乳、魚、ハチミツなど人によって制限が異なる。



### ムスリム (ハラル)

豚やアルコールなどが禁じられている。イスラム暦の9月にラマダン (断食) を行う。



### 食物アレルギー

個人によりアレルゲンとなる食物や症状が異なる。特定原材料7品目は加工食品に表示義務がある。他に推奨20品目もある。



### その他フードバリア

グルテンフリー、ローカーボ、減塩など。生活習慣病予防やダイエットなどの理由で量を制限している。



## FB 事業内容

### 調査事業

以下の調査結果の販売のほか、特定商品や分野に関する調査依頼をお受けします

- ハラル市場調査（市場規模、認証商品、訪日・在日市場など）
- ベジタリアン市場調査
- 食物アレルギーに関する実態調査
- ローカーボ、グルテンフリーに関するニーズ調査 など

### 研修事業

セミナーや研修などで人材育成につなげます。また、地域や企業内研修もお受けします

- フードバリアフリーフォーラム
- FB基礎講座
- ハラル研修
- ベジタリアン研修
- 食物アレルギー研修
- 出張研修、企業内研修（登録専門家の講師派遣）

### 情報発信事業

ホームページやメルマガ、動画等で、会員の皆様の店舗や商品の情報を発信します

- ホームページ運営
- FB実践店マップ、店舗・商品リストの掲載
- 会員向けメルマガ配信
- インバウンド向け動画作成

### その他関連事業

登録専門家によるアドバイスや会員間による事業などを行います

- 専門アドバイス（ハラル、ベジタリアン、コーシャなどの認証など）
- 食物アレルギー対策（代替商品の紹介など）
- 商品開発ワークショップ（会員間コラボによる商品開発など）

## FB フードバリアフリーで行うこと

### ① 食のバリアに対する正しい知識を得る

ベジタリアンやハラル、アレルギーなどに対する正しい知識、市場の最新情報などを学びます。

### ② 食事の内容をわかりやすく表示する

食事のメニューを、日本の食に知識がない人や食の制限がある人が理解できるような表記にします。

### ③ 使用している食材を明記する

食事に含まれる食材を正しく表示します。また、可能であればカロリー、塩分などの量の表記も行います。

### ④ 共通のマークで、誰にでもわかりやすく

子供や外国人、障害をもつ方でも理解できるように、共通のマークなどで表記するようにします。

### ⑤ フードバリアフリーを実践し、お客様に伝える

フードバリアフリーに取り組んでいる企業、店であることを表示し、利用促進や集客につなげます。



## FB フードバリアフリーに取り組むメリット



企業・店舗側

- インバウンド対策
- 新業態店の開発
- 顧客満足度向上
- 従業員教育
- 新商品の開発
- 販路開拓、輸出促進
- 企業や店舗イメージ向上



お客様側

- 安心して店や料理、商品を選べる
- 食を理解することができる
- 食べる店やメニューが増える

# 協会案内

## FB 協会概要

商号	一般社団法人日本フードバリアフリー協会
設立	2019年4月10日
代表理事	田中 章雄
理事	白濱 一久
理事	千葉 弘樹
監事	塩田 秀樹

---

所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-5
URL	<a href="https://foodbf.jp">https://foodbf.jp</a>
TEL	03-6257-1718
E mail	info@foodbf.jp

---

## FB 事業内容

1. フードバリアフリーに関する調査および研究
2. フードバリアフリーの普及・啓蒙
3. フードバリアフリーに関する教育、研修、資格認定
4. フードバリアフリーに関する情報発信
5. その他事業に附帯又は関連する事業

## FB 会員案内

1. 企業会員
2. 店舗・個人会員

会員  
サービス

- ◆セミナー、研修、調査報告書等の優待・割引
- ◆基本シート・アイコンの使用
- ◆“フードバリアフリー実施店”の表示
- ◆ホームページ等での企業や商品、店舗の紹介、掲載
- ◆会員間コラボ事業への参加
- ◆無料個別相談（一部有料相談）
- ◆訪問、診断、専門家派遣等の割引

※詳細は会員規約、HP等をご確認ください